

おおいずみちゅうりつひなみちゅうがこう

大泉町立南中学校

二学年

中村 達夫

節電の大切さ

「ガタカタ、ゴー。」

現実とは思えない光景だった。全ての物に残像が見える。電柱がしなり、遠くで石垣の崩れる音がする。その時、

「電線が切れるんじゃないか。」

僕の頭の中をよぎった。二〇一一年三月一日東北で大きな地震が発生した。

寒が、たので暖房をつけて、僕は机に向かい勉強を始めた。暗くなり始めたので電気がス

タンドをつけようとした。が、電気がついていない。「あれ、。」と思いエアコンを振り返る。まさかとは思った。たがっついていない。

「停電が発生だ。テレビもつかない。僕は手回し発電ラジオも手に取った。」

「ただ今の地震の影響により関東地方北部に停電が発生しています。発電所の電線の切断が原因だと見られています。」

現代の人は、電気を本当によく使っている。電気を使える今の生活を当たり前だと思っ

おおいずみちゅうりつおほいぢゅうがっこう

大泉町立土南中学校

一学年

中村

達矢

葉あらし

いる人が多いと思う。もはや、電気なしの生活は考えられぬ。もしこのような停電で電気が使えなくなると、照明がつかないのはもちろん、洗濯機や食器洗浄機も使えなくなる。全てが手洗いとなる。電気は僕達の生活を便利にするとても大切な資源だ。だが、その反面を電する時に二酸化炭素を放出してしまう。現代では電気に様々なことをまよりに地球温暖化を進行させてしまっている。

僕達は電気を使えることを有り難く思い、大切に使用していかなくてはならない。そのために僕達一人一人が節電を実行していかなくてはならない。さらに、この先どのようにに節電を行っていかれば良いかを考えることが重要である。

これから先は電気の存在に感謝をして地球を守るために節電を実行していきたいと思っております。地球に優しい節電の仕組みをテラノロジーの力で開発していきたい。